

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 泉崎 春海



平成25年冬休み号

No. 461

有意義な冬休みに

校長 泉崎 春海

師走も終盤になり、寒さが厳しくなってきました。でも、子供たちは、澄みきった青空の下で、寒さに負けずに楽しそうに遊んでいます。

さて、明日から冬季休業日になりますが、この時期は年末・年始と重なり、子供たちにとって通常の学校生活では得られない体験や活動ができる時期です。是非とも、健康で充実した日々を送れることを願っています。

1. 家族の一員としての仕事を

大掃除など、家族が協力して家の仕事を分担する絶好の機会です。家事を分担することは、家族の一員であるという自覚を高めます。また、子供たちにとって、自分のやったことが、人の役に立つということは嬉しいと同時に、自信をもつことにもつながります。是非、どんな仕事ができるかを親子で相談して決めるとよいと思います。

また、子供たちが仕事をしたことに対して、「よく頑張ったね」「こんなにきれいになってすごいね。」「上手にできたね。」等、褒め言葉をかけて、「家族の一員として仕事をしよう」という子供たちの意欲を高めていくのも大切だと思います。

2. 一年の計は元旦にあり

新しい年を迎える元旦は、前の年の生活を振り返るよい機会です。そして、その振り返りを生かして、新しい年への希望・目標をもてるようにしたいものです。

子供たちには、その場ですぐに終わってしまうことなく、「今年はこれをやりたい」というように継続的な見通しをもたせることが大切です。希望に胸を膨らませて、新年をスタートできるようにしていただきたいと思います。

3. 進んで挨拶を

年末・年始の訪問や来客の機会をとらえて、挨拶や礼儀作法等の生活習慣が身に付くようにしたいものです。特に挨拶は、人と人とのコミュニケーションをとる上で欠かせないものです。上手に挨拶ができた場面をとらえて褒め、しっかりと挨拶ができるようにしていくことが大切です。それを、子供たちが普段も当たり前続けられるよう、各ご家庭で根気よくしつづけを続けてほしいと思います。

インフルエンザ、感染性胃腸炎等も流行っています。健康に留意され、どうぞ良い年をお迎えください。新年が幸多い年でありますよう、お祈りしています。